

IV.CSR 活動

【難民支援アクション】

●「難民支援協会」への協力

グリーンフラスコでは、日本の中での難民支援に取り組む NPO 法人難民支援協会に協力する形で難民支援を行っています。



ショップ店頭での募金箱

協力内容:

1. 自由が丘店に募金箱を設置し、集まったお金を難民支援協会に寄付しています。2009 年度分では、約 6,000 円の募金が集まりました。
2. 2008 年 10 月 5 日、難民支援協会のイベント出店に際して商品の協力をしました。
3. 2009 年 5 月、難民支援協会によって実施された「難民支援緊急キャンペーン」において、グリーンフラスコ自由が丘店店頭での募金の協力、また社内で集めた支援物資を寄付しました。

【環境教育】

●森は自然のホスピタル～秋の清里-ハーブがつなぐ森と生活-(グリーンフラスコ&キープ協会共催)

11 月の清里の森は秋色。黄金色のカラマツが山の斜面を輝かせ、森を歩くと新しく落ちた枯葉がさくさくと音を立てていました。今回は、清里の厳しい冬にも青々とした葉をたたえてまっすぐに立っているモミを材料として、向かう冬に役立つ製剤実習を行いました。モミの幹から樹液を採って作ったバルサム軟膏は、お肌の保湿や、就寝時に胸に塗って咳止めに活用できます。寒い夜、皆で牧草の上に寝転び星空を見上げたこともいい経験となりました。

日程:2008 年 11 月 8 日～9 日

場所:山梨県北杜市高根町清里 財団法人キープ協会
(宿泊:清泉寮)

テーマ:ハーブがつなぐ森と生活～自然体験&メディカルハーブ

- 内容:1. 自然体験プログラム(森ウォーク)
2. メディカルハーブセミナーと植物製剤実習(クリームづくり)
3. ナイトハイク

案内人:五味愛美(財団法人キープ協会環境教育事業部)

林真一郎(グリーンフラスコ代表・薬剤師)

村上志緒(グリーンフラスコ研究所リサーチャー)



森でアートの材料を採集

●第3回環境教育フォーラム～森は自然のホスピタル(グリーンフラスコ&キープ協会共催)

第3回環境教育フォーラムでは「生活と森との共存」をテーマに、衣食住どれをとっても自然から恩恵を受けている私たちが「森のためにできることは何か?」について考えました。セミナーでは、伝統的にハーブがどのように人々の生活に活用されてきたかをお話しし、ワークショップでは参加者が一緒になって、森にも人間にもやさしい生活について考えました。

日程:2009年7月18日

テーマ:生活と森との共存を考える

内容:1. セミナー「私たちの生活と森との関わりを考える」

講師:村上志緒(グリーンフラスコ研究所リサーチャー)

増田直広(財団法人キープ協会環境教育事業部)

2. ワークショップ「元気な森と私たちの生活」

講師:増田直広(財団法人キープ協会環境教育事業部)



手まりをつきながらの自己紹介



グループワークの発表の様子